

生徒の皆さんへ

宮城県宮城第一高等学校
校長 佐藤 浩之

令和6年度 学校評価について (報告)

11月に実施しました学校評価アンケート調査について、多くの貴重な意見をいただき、ありがとうございました。評価の結果がまとまりましたので報告いたします。

◇回収率 対象 全校生徒

回収率：1年次 262人(92.9%)、2年次 258人(94.5%)、3年次 262人(95.6%)

◇評価段階

A：当てはまる

B：どちらかといえばあてはまる

C：どちらかといえばあてはまらない

D：当てはまらない

肯定的評価（A+B）が90%以上：◎、60%以上：○、50%以上△、50%未満▲

◇評価領域ごとの結果と分析(数値の単位は%)

I 教育活動全般に関する評価領域

No	評価項目	A		B		C		D		A+B	評価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
1	学校行事は楽しく有意義に行えるよう配慮されている。	44.8	55.3	35.6	38.3	13.2	5.8	6.3	0.7	90.7	◎
2	学校生活は充実している。	51.7	52.3	39.7	41.3	5.7	5.8	2.9	0.7	93.1	◎
3	災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている。	33.9	32.4	46.0	51.3	15.5	15.0	4.6	1.3	82.9	○
4	学習活動、学校行事、部活動では特色ある学校づくりに取り組んでいる。	52.9	62.7	39.7	34.7	5.7	2.3	1.7	0.3	96.3	◎
5	学校ホームページや Classi などによって、学校の情報は適切に伝えられている。	40.2	46.7	44.3	45.9	13.8	6.7	1.7	0.7	90.8	◎
6	校舎やグラウンドなどの施設・設備は整備されている。	31.6	41.0	42.5	43.8	13.8	13.0	12.1	2.3	82.4	○
7	授業・課外・クラスの活動等において、iPad等のICT機器が活用されている。	68.4	83.4	27.0	16.1	2.3	0.3	2.3	0.2	98.6	◎

設問1「学校行事」は、肯定的評価が90.7%と高評価となりました。生徒の皆さんと先生方で協力、工夫して、さまざまな学校行事を実施できたことに対する評価だと思えます。また、設問2「学校生活」は、充実していると感じている皆さんが93.1%であり、自ら考え行動できる宮一生のモチベーションの高さを感じられま

す。今後も、この意識の高さが継続されることを大いに期待しています。

設問3の「災害時の対応」は、82.9%と肯定的評価となりました。年2回の避難訓練においては、防災委員の皆さんの活躍のおかげで、避難経路や非常時の連絡方法を生徒の皆さんと再確認することができました。これからも、適切な情報発信を心がけ、防災意識の向上に努めていきたいと考えています。また、新校舎の避難経路を再度見直し、教室以外の活動場所からでも迅速に避難できるように周知していきたいと考えていますので、ご意見等をよろしく願います。なお、「災害」とは、地震・台風・洪水・津波・火山の噴火などの自然災害はもちろんですが、人間の活動によるもの（産業災害・感染症・公害・テロなど）も含まれます。生徒の皆さんも、社会の一員として、高い防災意識を持って生活して欲しいと思います。

項目4「特色ある学校づくり」は、96.3%と肯定的評価が高くなりました。本校の特色ある学校づくりが理解されていると考えています。今後も生徒の皆さんとともに、魅力ある学校づくりに努めて参ります。

項目5「学校の情報」は、肯定的評価が90.8%と高水準であり、学校からの情報が生徒の皆さんへ適切に伝えられていると考えます。これからも連絡事項などを様々なコンテンツ、ツールを活用して発信に努めます。

項目6「施設・設備の整備」は、新校舎へ移転が完了し、最新の施設設備となり82.4%の肯定的評価となりました。今後もグラウンドの整備が行われるなど、環境改善が進みます。このきれいな施設を少しでも長く次に継いでいけるよう、一緒に努力していきましょう。

項目7「ICT機器の利活用」は、98.6%の肯定的評価でした。生徒の皆さんは、積極的にiPadを活用しているようです。ICT機器を活用した授業や学校行事など、Society5.0時代に向けて、できる限りの支援を続けていきたいと考えています。今後も、生徒・教員一体となって情報モラルに注意しながらiPad等を効果的に活用していきましょう。

2 学習活動に関する評価領域

No	評価項目	A		B		C		D		A+B	評価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
8	学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている。	22.4	25.8	50.0	55.6	17.8	16.3	9.8	2.3	79.4	○
9	学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。	33.9	36.2	52.3	58.6	12.1	4.6	1.7	0.5	93.0	◎
10	2年次、3年次での科目選択について十分な説明が行われている。	40.8	43.8	36.2	43.2	13.2	11.0	9.8	2.0	84.8	○
11	教科の年間指導計画や評価の仕方について説明されている。	42.0	46.4	45.4	45.4	9.2	7.2	3.4	1.0	90.8	◎
12	学習について気軽に教員に質問できる雰囲気がある。	38.5	38.0	46.6	50.0	10.9	10.5	4.0	1.5	87.3	○

項目9「学校として、スクールポリシーに基づいた教育課程が編成・実施されている。」は前年度の肯定的評価88.4%から今年度は93.0%まで上昇しています。

本校のスクールミッションは「積極的な姿勢で自らを成長させる「自主自律」の理念のもと、高い知性と豊かな創造性を身に付け、相手の立場に敬意を払いつつ自己の責任を果たす、リーダーとして社会の発展に貢献しうる人材を育成する学校を目指します。」です。これに基づき、スクールポリシーの柱の1つとしてカリキュラム・ポリシー（教育課程の編成及び実施に関する方針）を設定しています。その内容については、下記のとおりです。

【普通科・国際探究科・理数探究科共通】

○海外を含む高等教育機関へ進学できる学力と学びに向かう力の育成

→授業をはじめとして、深く幅広い確かな知識とそれをさまざまな場面で活用できる力を、自律的に身に付けられるように支援する。

○社会における多様性を理解すること、他と協働すること

→授業での対話的な学びや、特別活動での望ましい集団活動を通じて、多様性を承認し他者を尊重する精神を育む。

【普通科】

○知的的好奇心と探究へ向かう心、チャレンジ精神、失敗からも立ち直る力の育成

→授業や探究活動の中で、知識の伝達にとどまらず、社会の様々な課題に関心を持ち、生徒が自ら律し自ら学び、深く学問を追究していくことを支援する。

【国際探究科】

○高い英語活用能力と国際的な視野の育成

→学校設定教科「国際」の各科目、探究基礎、国際探究、探究発表、秋桜探究学を中心として、高度な探究活動を実践する。

【理数探究科】

○理数的な能力・教科横断的な能力の育成

→理数科の専門科目、探究基礎、理数探究、探究発表、秋桜探究学を中心として、高度な探究活動を実践する。

他のポリシーについては、宮城県教育委員会による下記ページで確認してください。

(<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/koukyou/school-mission-policy.html>)

項目 8「学ぶ意欲を引き出し、学力を身に付けられるような授業が行われている」こそ、肯定的評価が7割台ですが、全ての項目で昨年度より肯定的評価の割合が上昇し、項目9～12においては過去4年間で最も高い評価となりました。

新学習指導要領では『主体的・対話的で深い学び』のキーワードのもと、「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視した授業、学んだ一つ一つの知識がつながり「わかった」「おもしろい」と思える授業、周りの人たちと共に考え、新しい発見や豊かな発想が生まれる授業など、工夫を凝らしながら生徒の皆さんの資質・能力を育てることが求められています。本校における生徒の皆さんの学び合いやグループ学習での発表など、各教科で探究的な学び・ICT利活用の取り組み、各教員の授業力向上に対する改革は急速に進んでおり、その理解が深まっていると感じております。

今後さらに、生徒の皆さんの「学ぶ意欲」を引き出し、「学力（受験学力・資質・能力）を身に付けられるような授業」の2つの側面において、常に検証していきます。また授業においては、皆さんに身に付けてもらいたい資質・能力を見定めた単元の目標設定、めあて、評価のポイントを示すとともに、「生徒の声」、「学力」、「授業担当者の振り返り」が相互的に関わる取り組みを工夫して参ります。

項目12「学習について気軽に教員に質問できる雰囲気がある」の肯定的評価87.3%が示すように、日頃から授業担当者として生徒との対話を大切にしながら、今回の学校評価における生徒・保護者の皆さんのご意見のほか、全クラスで行っている授業評価アンケートにも注目し、授業担当者間での共通理解をさらに高め、皆さんの進路目標達成に繋がると満足いただけるよう、授業改善に取り組んで参ります。

3 進路指導に関する評価領域

No	評価項目	A		B		C		D		A+B	評価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
20	進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている。	42.5	41.3	46.6	49.3	8.0	8.1	2.9	1.3	90.3	◎
21	大学についての情報提供が的確になされている。	45.4	45.1	44.8	42.4	5.7	10.4	4.0	2.1	88.1	○
22	自分の進路について相談に応じる体制ができています。	46.6	46.1	44.3	43.8	5.7	7.7	3.4	2.5	90.0	◎
23	進学へ向けての模擬試験や課外講習が充実している	49.4	54.3	42.5	40.8	5.2	4.1	2.9	0.8	94.4	◎
24	進路ガイダンス・進路講話は適切に実施されている。	42.0	50.8	48.9	44.1	5.7	4.6	3.4	0.5	94.0	◎

進路指導関係の評価項目は、全般的に肯定的評価が高いと受け止めています。昨年度比で唯一マイナス評価（マイナス1.6%）となった項目が「大学についての情報提供が的確になされているか」でしたが、これは前年度にプラス6.7%となった項目でした。現状で88.1%が肯定的評価ですが、90%を超えるようにさらなる情報提供に努めたいと考えております。他項目は全て昨年度よりもプラス評価であり、特に項目20の「進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている」がプラス4.7%となったことは「ミヤイチ進路探究」を駆動させた成果と実感しております。今後も継続して肯定的評価90%を超えられるように「ミヤイチ進路探究」の実現を図って参ります。

4 生徒指導に関する評価領域

No	評価項目	A		B		C		D		A+B	評価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
13	学友会、各種委員会の活動が盛んで充実している。	28.7	32.9	46.0	50.7	20.7	14.1	4.6	2.3	81.6	○
14	部活動が活発に行われている。	55.7	61.5	40.8	33.6	2.9	4.4	0.6	0.5	95.4	◎
15	挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立に関する指導が行われている。	31.0	28.9	46.0	50.0	16.7	16.8	6.3	4.3	78.5	○
16	学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる。	23.6	25.5	47.7	54.6	20.1	16.6	8.6	3.3	78.1	○

項目13「学友会、各種委員会活動」の肯定的評価はプラス2.8%と向上しました。宮城第一高校として、諸行事を運営する委員会活動、それを全体的に支える学友会活動が様々な場面で機能し、一年間学校全体を盛り上げた実感できているところは良いと思います。様々な活動が上昇傾向の思いでいる現状は、今後も続いてほしいと考えます。

項目14「部活動」の肯定的評価が昨年度よりプラス1.8%の95.4%、概ね良いと捉えていただいていることは、良い活動展開ができていると考えます。校内校外それぞれ活躍の場に対する目標設定等、活動方針はそれぞれの部で違いがあると思われませんが、生徒の活躍の場の一つとして大いに力を発揮し、次のステージに進んでほしいと考えます。

項目15「挨拶やマナーなどの基本的生活習慣の確立」の肯定的評価は昨年度比プラス6.2%と向上し、78.5%になりました。この数値をどのように捉えて今後につなげていくかが大切なポイントと考えます。自らの評価数値ですので、指導されることを待つだけではなく、一人一人が自ら声を出してみる、積極性を出して行動していくことが大切ではないでしょうか。「自主自律」の校風より生きてくると思います。学校としても学友会や各種委員会と連携、適宜声掛けをしながら、今後も皆さんとともに考えていきたいと思ひます。

項目16「いじめの早期発見」の肯定的評価はプラス3.4%と向上しましたが、評価は78.1%であり、面談機会やアンケート調査実施についてさらに検討をしていきたいと思ひます。生徒の皆さんが安心して学校生活を送れるよう、いつでも気軽に相談できる体制、雰囲気作りは調査以前に早期発見・対応の土台となることだと考えます。今後もよりよい学校作りを進めて参ります。

5 健康管理に関する評価領域

No	評価項目	A		B		C		D		A+B	評価
		男	女	男	女	男	女	男	女		
17	必要なときに、悩みや困りごとの相談に応じてくれるカウンセリング体制が整っている。	39.7	39.8	48.3	51.0	10.3	8.2	1.7	1.0	90.2	◎
18	健康や体について困ったとき、相談に応じる体制が整っている。	39.7	43.6	50.0	47.9	8.0	7.7	2.3	0.8	91.0	◎
19	校舎は衛生的に管理されている。	55.2	58.1	36.2	37.7	7.5	3.8	1.1	0.5	94.8	◎

項目17「カウンセリング体制」については、過去3年間の割合が8割台で大きな変動はなく概ね良好でしたが、今年度は90.2%とさらに肯定的評価が高くなりました。スクールカウンセラーによるカウンセリングの充実はもちろん、生徒の皆さんが体制の利用を心がけていただいた結果と考えています。引き続き、カウンセリングの申込方法等、様々な機会をとらえて生徒全体へのアナウンスを充実させて参ります。生徒の皆さんの「SOS信号」の早期発見、わずかな振る舞いの違いをキャッチし、必要に応じてカウンセリングに繋げていけるよう、先生方もチームとなって関わりたいと考えます。

項目18「健康相談体制」は、肯定的評価が3年前の89.6%から僅かに評価が下がりましたが、それでも86%を維持しました。本年度は過去4年で最高の91.0%と肯定的評価と回復し、良好と判断しております。カウンセリング体制と同様、生徒の皆さんへのアナウンスと年次の先生方と連携した情報収集に努め、健康相談に繋げて参ります。

項目19「校舎の衛生管理」は、肯定的評価が過去3年間で最も高く、昨年度より7%ポイント以上評価が上昇し、94.8%となりました。しかし、新校舎に移転して1年が経過し、清掃が徹底しにくい箇所もあります。生徒の皆さんとともに日頃から校舎をきれいに使用する意識づくりに努めていきたいと思ひます。また、各教室内のエアコン、換気装置、加湿器等を適切に使用・管理するよう働きかけて参ります。